

試合の進め方

田原市版プロトコール（進行手順）

田原市ソフトバレーボール協会として、現在曖昧なまま行われていますプロトコールを下記の通り統一して行います。皆様に周知徹底をお願い致します。

1. 試合開始前（前試合終了後）、審判担当チームは、両チームのキャプテンを副審側に呼び、握手をした後、トス（ジャンケン）をし、サーブ権・コート権の選択を決定する。
試合開始の整列に間に合わない選手がいる場合は、事前にトスの時に審判と相手チームに了解をとる。（了解なしで、遅れた選手が試合に出ることはできない。）

※ トス → 公式練習 → 整列 → 握手 → 試合開始 の順です。

2. 吹笛して公式練習（合同練習で乱打）をさせる。公式練習は3分以内（状況にあった練習時間とする。）とし、吹笛で公式練習の終了を知らせる。
3. 主審は審判台の下に移動し、コートに向かってネットの右側に立ち、**両チーム全員**をエンドラインに整列させる。（その場に居て整列しない控え選手は、試合に出ることはできない。）
この時、副審はボールを副審側に置き、主審側へ移動しネットを挟んで主審の左側に並ぶ。
4. 主審の吹笛とハンドシグナルにより両チームは進んで、相手の選手とネットの下で握手する。挨拶の後に控えの選手はコートから出る。
5. **主審は審判台に上がり立ち**、選手がポジションに着いたらすみやかに試合を開始する。
6. セット終了後、選手はエンドラインに整列、主審の吹笛とハンドシグナルにより、反時計回りに支柱の外側を回ってコートを移動する。（ネットの下は通らない。）
7. セット間の時間は設定しない。速やかに次セットに入る。
2・3セットの開始時はエンドラインの整列は不要。そのままコートに入る。
8. 3セット目に入る場合は、主審は審判台から降り、副審側で改めてトスを行い、サーブ権・コート権の選択を決定する。必要ならばコートを替わる。
9. 3セット目は8点でコートを替える。主審の吹笛とハンドシグナルで、整列はせずに選手は、その位置より反時計回りに支柱の外側を通りコートを移動する。（ネットの下は通らない。）
8点を過ぎてからコート移動をしていないことに気づいたら、その時点で得点はそのまま、コート移動を行う。
10. 試合終了後、**主審は審判台から降りて**ネットの右側に立ち、両チームは控え選手を含め全員エンドラインに整列する。
この時、副審はボールを副審側に置き、主審側へ移動しネットを挟んで主審の左側に並ぶ。
11. 主審の吹笛とハンドシグナルで両チームは進んで正面の選手とネット下で握手し挨拶する。
12. 両チームのキャプテンは、主審に感謝の気持ちで握手し挨拶する。
13. 主審及び勝ちチームのキャプテンは、確認の上で記録用紙にサインをする。